

# 第133回国会概観

## — 第17回参議院選挙後初の国会 —

第133回国会（臨時会）は、7月23日に実施された第17回参議院議員通常選挙を受け8月4日に召集され、院の構成と核実験反対決議等を行った。

会期については、院の構成を中心に5日間を提案した与党と、村山総理の所信表明演説等を要求し5日間を超える会期を主張した野党との調整がつかず、召集日当日の衆参両院本会議において、与党提案の8日までの5日間を賛成多数で議決した。

開会式は、召集日当日に行われた。

### 【院の構成】

召集日当日の参議院本会議では、院の構成を決めるため、議長選挙、議席の指定、副議長の辞任、副議長の選挙、常任委員長選挙、特別委員会及び調査会の設置等が行われた。

議長及び副議長の選挙においては、無名投票の結果（投票総数244票、過半数123票）、第21代参議院議長に斎藤十朗議員（自民）が241票をもって、第22代参議院副議長に松尾官平議員（平成）が236票をもって、それぞれ当選した。

常任委員長選挙では、その手続きを省略して議長の指名によることに決し、議長は17常任委員長を指名した。会派別の割当は、自民9、平成5、社会3となった。

特別委員会は、科学技術特別委員会、環境特別委員会、災害対策特別委員会、選挙制度に関する特別委員会、沖縄及び北方問題に関する特別委員会、地方分権及び規制緩和に関する特別委員会、中小企業対策特別委員会、国会等の移転に関する特別委員会の8特別委員会が設置された。各特別委員会において、それぞれ委員長を選任した。

調査会は、国際問題に関する調査会、国民生活・経済に関する調査会、行財政機構及び行政監察に関する調査会の3調査会の設置が議決された。各調査会において、それぞれ調査会長を選任した。

同日、斎藤議長及び松尾副議長はそれぞれの所属会派を退会し、赤桐操前副議長は社会党に復帰した。

### 【核実験反対の決議】

本年5月、7か月ぶりに中国は地下核実験を行った。また6月、フランスのシラク大統領は、本年9月から来年5月までに計8回の地下核実験を南太平洋ムルロア環礁で再開することを発表した。

7月18日、連立与党3党首会談において、臨時国会で核実験中止を求める国会決議を行う方針を決定した。また20日、政府も、五十嵐官房長官が総理官邸に駐日フランス大使を呼び、核実験再開決定の再考と中止を要請した。

これらを受け、8月3日、衆参両院の議院運営委員会理事会において、与党案をもとに召集日当日に決議を行うことが決定された。

参議院においては、8月4日、田沢智治君外7名発議に係る「中国の核実験に抗議し、フランスの核実験に反対する決議案」が提出された。

決議文中、参議院が「両国の核実験は、核保有国の核実験の自制を求めている国際世論に逆行し」としている部分は、衆議院では「両国の核実験は、核拡散防止条約への信頼を損ない」としており、文案に若干の相違はあるものの、その内容は衆参同趣旨である。

本決議案は、委員会審査を省略し、本会議において全会一致をもって可決された後、斎藤議長から村山内閣総理大臣宛に送付された。

なお、同日、衆議院本会議においても全会一致をもって可決された。

(Ⅲの2「本会議決議」を参照されたい。)

#### 【法律案の審議概況等】

今国会には、衆議院議員提出法律案（経済対策関連2件及び行政改革関連11件）13件が提出されたが、委員会に付託されるに至らず、すべて審査未了となった。

衆議院においては、第132回国会から継続中の「高齢社会対策基本法案」（参法）外1件が継続審査となった。

8月8日、衆参両院本会議で、故福田赳夫元内閣総理大臣に対する弔詞を朗読した後、閉会中審査手続き等の会期末処理が行われた。

経済対策等の懸案事項の処理は、次回の国会に持ち越された。

#### 【その他】

##### 〔第17回参議院議員通常選挙結果〕

村山連立政権が成立してから初めての全国規模の国政選挙であった。

選挙の結果、自民党は46議席（改選議席33）、社会党は16議席（同 41）、新進党は40議席（同 19）、共産党は8議席（同 5）、民主改革連合は2議席（同 8）、平和・市民は1議席（同 3）、二院クラブは1議席（同 1）、新党さきがけは3議席（同 1）、無所属は9議席（同 9）をそれぞれ獲得した。非改選と合わせると、自民党は107議席、新進党は56議席、社会党は38議席、共産党は14議席、新党さきがけは3議席、民主改革連合は2議席、平和・市民は2議席、二院クラブは2議席、無所属は15議席となった。

投票率は、国政選挙として史上最低（選挙区44.52%、比例代表44.50%）を記録した。

（Ⅶ 参考資料 「第17回参議院議員通常選挙結果」を参照されたい。）

#### 〔会派別議員数〕

8月1日現在における院内各会派の議員数は、「自由民主党・自由国民会議」112、「平成会」69、「日本社会党・護憲民主連合」38、「日本共産党」14、「新緑風会」5、「二院クラブ」4、「新党さきがけ」3、「平和・市民」2、「会派に属しない議員」5となった。

（Ⅱの2及び3「会派別議員数一覧」「会派別議員一覧」を参照されたい。）

#### 〔村山内閣改造〕

会期終了日の8日、村山連立政権は初の内閣改造を行い、同日夜、第一次改造内閣が発足した。

参議院からは3議員が入閣し、民間からは1人が入閣した。

（Ⅶ 参考資料 「国務大臣等一覧」を参照されたい。）